



平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月4日

上場取引所 東

上場会社名 ミニストップ株式会社

コード番号 9946

URL <https://www.ministop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤本 明裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 堀田 昌嗣 (TEL) 043-212-6472

四半期報告書提出予定日 平成30年7月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績 (平成30年3月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	51,287	0.5	△544	—	△259	—	△425	—
30年2月期第1四半期	51,032	4.2	△269	—	△70	—	△127	—

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 △589百万円(—%) 30年2月期第1四半期 △208百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	△14.69	—
30年2月期第1四半期	△4.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	127,210	57,756	42.7
30年2月期	120,616	58,777	46.0

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 54,367百万円 30年2月期 55,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	22.50	—	22.50	45.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想 (平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	110,000	4.2	1,500	5.6	1,950	0.7	700	△7.9	24.15
通期	220,000	6.3	1,800	—	2,700	126.3	1	—	0.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年2月期1Q	29,372,774株	30年2月期	29,372,774株
31年2月期1Q	374,675株	30年2月期	379,969株
31年2月期1Q	28,995,454株	30年2月期1Q	28,979,939株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済の状況は、回復基調が続き、雇用・所得環境が改善傾向となり、個人消費は緩やかな持ち直しの動きが続きました。

コンビニエンスストアを取り巻く環境は、喫煙人口の減少による煙草の販売減、情報チャネルの多様化による新聞・書籍の販売減に加え、他業態との食品市場の競争激化、ECビジネスの市場拡大など、厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社は“もっと便利、もっと健康、もっと感動、毎日行きたくなる店舗をつくります。”というビジョンの実現に向け、国内コンビニエンスストア事業および海外エリアフランチャイズチェーン展開を推進してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、営業総収入512億87百万円（前年同期比100.5%）、営業損失5億44百万円（前年同期実績 営業損失2億69百万円）、経常損失2億59百万円（前期同期実績 経常損失70百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億25百万円（前年同期実績 親会社株主に帰属する四半期純損失1億27百万円）となりました。

国内および海外のエリアフランチャイジーを含めた当第1四半期連結会計期間末店舗数は5,442店舗となりました。

各セグメント別の業績は以下のとおりです。

[国内事業]

ミニストップ(株)のチェーン全店売上高は前年同期比98.3%となりました。ミニストップ店舗の既存店1店1日あたりの売上高前年比（以下、既存店日販昨対）は、98.0%、店内加工ファストフードの既存店日販昨対は97.5%、コンビニエンスストア商品の既存店日販昨対は98.1%となりました。

店内加工ファストフードのコールドデザート商品は、「練乳いちごパフェ」、「完熟あまおう苺ソフト」、「ハロハロ 果実氷いちご」と、各月に有力な新規商品を投入し、積極的なプロモーション活動を実施しました。ホットスナック商品は、「Xフライドポテト、チキン&チップス各20円引きセール」「Xフライドポテト1.5倍増量セール」「フランクフルト100円セール」等、売れ筋商品の販売促進を実施しご好評をいただきました。

コンビニエンスストア商品は、売れ筋商品の発注改善に取り組み、品揃えの充実を図りました。その中でも、サラダの強化に取り組み、売場スペースの拡大、品揃えの拡充を実施し、サラダは前年同期比115.0%となりました。また、米飯類の販売期限延長に取り組み、弁当3アイテムの販売期限を延長し、品揃えの改善を実現しました。なお、昨年より取り組みを開始したイオングループ共通商品は、サンドイッチと冷し中華をリニューアルして販売しました。

販売促進活動は、電子マネーWAONとWAON POINTの利用促進を目的とした販促を中心として実施しました。その中でも、WAON POINTカードにたまったポイントの利用を促進する「ポイントバックキャンペーン」を実施し、ご好評をいただきました。

売上総利益は、菓子・加工食品、雑貨などの利益率を改善することはできましたが、ファストフードの売上構成比が下降したことにより、31.3%（前年同期比△0.1ポイント）となりました。

販売費及び一般管理費は、後方部門の経費削減、効率化を行う一方で、既存店活性化を目的とした店舗改装、加盟店への品揃え支援など売上向上のための経費を投入しました。

店舗開発は、不採算店舗を計画的に整理し、出店は24店、閉店は44店となり、当第1四半期連結会計期間末店舗数は2,244店舗となりました。

ネットワークサービス(株)は低温センター13ヶ所、常温センター7ヶ所を運営し、国内ミニストップ店舗向けの共同配送事業を展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における国内事業の営業総収入は204億74百万円（前年同期比98.3%）、営業損失は2億41百万円（前年同期実績 営業利益64百万円）となりました。

[海外事業]

韓国の韓国ミニストップ㈱は、中食強化型のフォーマット改革を進め、弁当を中心に販売期限延長に取り組み品揃えの改善を実現した結果、中食商品は前年を上回ることができました。営業総収入は、店舗数の増加により前年同期比101.1%となりました。また、出店は86店、閉店は60店となり、当第1四半期連結会計期間末店舗数は2,527店舗となりました。

中国の青島ミニストップ有限公司は、店内加工ファストフードの新規商品の売り込みに注力し、「チーズ焼きいも」「チョコカスタードシュー」がご好評をいただきました。また、新型デリケースを3月より順次導入し、店内加工ファストフードの売上は前年を上回ることができました。当第1四半期連結会計期間末店舗数は64店舗となりました。

ベトナムのMINISTOP VIETNAM COMPANY LIMITEDは、店内加工ファストフードの中華まん、コンビニエンスストア商品のスナック、飲料、日用品等が好調に推移し、既存店1店1日当たりの売上が向上しました。当第1四半期連結会計期間末店舗数は118店舗となりました。

フィリピンのロビンソンズ・コンビニエンス・ストアーズ・インクの当第1四半期連結会計期間末店舗数は489店舗となりました。

以上の結果、海外エリアでの当第1四半期連結会計期間末店舗数は3,198店舗となりました。当第1四半期連結累計期間における海外事業の営業総収入は308億12百万円（前年同期比102.0%）となりました。営業損失は3億2百万円（前年同期実績 営業損失3億34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ65億94百万円増加し、1,272億10百万円となりました。これは主に現金及び預金が38億92百万円、未収入金が16億90百万円、関係会社預け金が10億円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ76億14百万円増加し、694億53百万円となりました。これは主に店舗での公共料金等の取扱いによる預り金が47億64百万円、買掛金が16億44百万円、長期借入金が15億15百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億20百万円減少し、577億56百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失4億25百万円を計上し、配当金6億52百万円の支払いをしたことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は計画通り推移しており、2018年4月11日の決算短信で公表いたしました2019年2月期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,842	9,734
加盟店貸勘定	8,852	8,298
商品	3,438	3,276
未収入金	10,419	12,109
関係会社預け金	4,000	5,000
その他	6,078	6,327
貸倒引当金	△100	△102
流動資産合計	38,529	44,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,138	16,707
機械装置及び運搬具(純額)	2,420	2,408
器具及び備品(純額)	12,320	12,671
土地	432	432
リース資産(純額)	66	46
建設仮勘定	329	289
有形固定資産合計	31,709	32,555
無形固定資産		
ソフトウェア	1,824	1,768
のれん	337	302
その他	969	983
無形固定資産合計	3,132	3,055
投資その他の資産		
投資有価証券	7,934	8,026
関係会社株式	1,559	1,400
長期貸付金	443	472
差入保証金	31,098	30,821
その他	6,378	6,402
貸倒引当金	△169	△168
投資その他の資産合計	47,245	46,954
固定資産合計	82,086	82,565
資産合計	120,616	127,210

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,955	26,600
加盟店借勘定	662	1,097
短期借入金	4,032	2,525
未払金	5,753	6,126
未払法人税等	264	145
預り金	12,899	17,663
賞与引当金	224	456
店舗閉鎖損失引当金	57	80
その他	2,581	2,954
流動負債合計	51,432	57,649
固定負債		
長期借入金	—	1,515
リース債務	61	53
長期預り保証金	6,775	6,649
退職給付に係る負債	489	523
資産除去債務	2,349	2,349
その他	730	712
固定負債合計	10,406	11,804
負債合計	61,839	69,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,491	7,491
資本剰余金	7,592	7,592
利益剰余金	35,850	34,769
自己株式	△671	△661
株主資本合計	50,262	49,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,728	4,792
為替換算調整勘定	691	584
退職給付に係る調整累計額	△219	△200
その他の包括利益累計額合計	5,201	5,177
新株予約権	28	21
非支配株主持分	3,285	3,367
純資産合計	58,777	57,756
負債純資産合計	120,616	127,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
営業総収入	51,032	51,287
営業原価	32,022	33,296
営業総利益	19,009	17,990
販売費及び一般管理費	19,279	18,534
営業損失(△)	△269	△544
営業外収益		
受取利息	150	149
受取配当金	40	49
違約金収入	46	68
その他	47	68
営業外収益合計	284	336
営業外費用		
支払利息	17	28
持分法による投資損失	38	13
その他	30	10
営業外費用合計	86	52
経常損失(△)	△70	△259
特別利益		
固定資産売却益	10	7
特別利益合計	10	7
特別損失		
減損損失	57	110
店舗閉鎖損失	74	133
店舗閉鎖損失引当金繰入額	39	54
その他	9	29
特別損失合計	180	328
税金等調整前四半期純損失(△)	△241	△580
法人税、住民税及び事業税	58	48
法人税等還付税額	△115	—
法人税等調整額	20	△86
法人税等合計	△37	△37
四半期純損失(△)	△203	△543
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△76	△117
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△127	△425

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純損失(△)	△203	△543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195	63
為替換算調整勘定	△150	21
退職給付に係る調整額	15	16
持分法適用会社に対する持分相当額	△64	△147
その他の包括利益合計	△4	△45
四半期包括利益	△208	△589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68	△450
非支配株主に係る四半期包括利益	△140	△139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。

顧客に対する一部の支払について、従来、販売費及び一般管理費として会計処理していましたが、当第1四半期連結会計期間より営業総収入から控除しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業総収入が1,443百万円減少し、販売費及び一般管理費は1,443百万円減少しています。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業総収入			
外部顧客に対する営業総収入	20,822	30,209	51,032
セグメント間の内部営業総収入又は振替高	155	—	155
計	20,978	30,209	51,188
セグメント利益又は損失(△)	64	△334	△269

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	33	24	57

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業総収入			
外部顧客に対する営業総収入	20,474	30,812	51,287
セグメント間の内部営業総収入又は振替高	170	—	170
計	20,645	30,812	51,457
セグメント損失(△)	△241	△302	△544

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	71	38	110